

【お知らせ】 第1シロキビル・AED 設置について

このたび、第1シロキビルに AED(自動体外式除細動器)を設置したことをお知らせします。

- 設置場所：第1シロキビル（名古屋市千種区千種 3-25-19）
<https://www.qqzaidanmap.jp/>
（一般財団法人 日本救急医療財団「全国 AED マップ」登録済）

- 設置台数：1台

- 機器仕様：（1）保管ケースに入れたまますぐに使用可能
（2）音声と光で操作をサポート
（3）CPR レートアドバイザー機能により、
胸骨圧迫をリアルタイムでサポート



弊社は、AED 設置を契機として、今後も社会貢献活動に取り組んで参ります。

【参考】

1. AED とは

- 心臓がけいれんし、血液を流すポンプ機能を失った状態(心室細動)になった心臓に対して、電気ショックを与え、正常なリズムに戻すための医療機器です。
- 2004年7月より医療従事者ではない一般市民でも使用できるようになり、病院や診療所、救急車はもちろんのこと、空港、駅、スポーツクラブ、学校、公共施設、企業など、人が多く集まる場所を中心に設置されています。
- AEDは、操作方法を音声でガイドしてくれるため、簡単に使用することができます。（心臓の動き(心電図)を自動解析し、電気ショックが必要な方にのみ電気ショックを流す仕組みになっています。）

2. 設置に至った経緯

- 一般財団法人 日本救急医療財団「AED の適正配置に関するガイドライン（平成30年12月25日）」によると、5分以内に AED の装着ができる体制が望まれるため、住宅地では 100m 間隔で 1 台設置されることが推奨されています。（今回の設置により、名古屋市千種区千種 3 丁目周辺エリアがカバーされました）
- 2023年9月実施の第1シロキビル消防訓練において、入居企業様から AED 設置要望が多く寄せられました。

2024年4月2日(火)
株式会社シロキホールディングス